

「ピープルファクトリー」だより

第2号
2020 June

「ピープル」での様々な出会いが、明日の希望につながればうれしい……!

<http://people-factory.org/>

懐かしい人と人との出会い……

新型コロナウイルスの影響が社会の隅々まで浸透しています。

皆様におかれましてはご無事でお過ごしでしょうか？

今年の4月より「ピープルファクトリー」は新たな形でより多くの方々との交流ができる場として

“地域のオアシス”と銘を打って計画し、スタートしようとした矢先……コロナ騒動となりました。

人と人との出会いを楽しみに生きている人間にとって、この儘ならぬ日々焦りを感じています。

只只、新型コロナウイルス感染症の収束を待ち、耐え忍んでいくしかありません。

こんな時だからこそ、サポーターの方々、地域の方々と様々な関わりの中で築き上げてきた出会いのドラマが懐かしく貴重に思い出されます。

私事ですが、不治の病から生還した息子との看護の日々が時を重ねる毎にいとおしく感じ、又、弱い立場にある人間から“教わる”ことの多さに敬服しています。人は幾つになっても、どんな状況にあっても、最後まで“学ぶ”ことがあるのですね。息子の“天真爛漫”な姿を前にして、つくづく感じさせられています。

「ピープルファクトリー」再開に向け、ゆっくりとじっくりと心の充電をし、「アトリエ Toto」の“鳥”展開催に向け作品づくりに取り組んでいます。

収益は福島県相馬市の“工房もくもく”へ少しでもお力添えができればと願い制作に励んでいます。

そして早くも6月。今月の「ピープルカルチャータイム」は路上のミュージシャン坪山健一さん“TSUBOKEN play the SAX”を、ギャラリーは自閉症の夢あふれる青年アーティスト三本木海人さんの“海人の虫の世界”を企画し、準備していましたが。

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見極められたあかつきには、皆さまと共に新たな新鮮な出会いが来ることを願っています。

「ピープルファクトリー」代表 大谷 東子

サポーターズの皆さま

新型コロナウイルス感染症の収束を願って皆さまのご健康をお祈りいたしております



今回のイラストは
寄付回数断トツの
ピープルサポーター
青山ポチさんの遺作
です

NPO 地域の OASIS 「ピープルファクトリー」
〒251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋 1-9-8
Tel&Fax 0466-23-5110
Web <http://people-factory.org/>



路上ライブの出会いの中で . . .

とある日、いつも通り、その日も路上ライブ。

『今日は藤沢にしようかな...』いつも何気なく演奏場所を決めるけど、そんな中から出会いは生まれる。

<<< 偶然は必然 >>>

その言葉をしょっちゅう実感出来る事こそが、未だに路上ライブを続けていく僕の原動力。

ミュージシャン一本でやっていこうと、中学・高校の非常勤講師を辞めて 2000 年に大阪から上京した。

何かのツテがあつての上京でなかったことから、大阪でも始めていた路上ライブに軸を置きながら、Jazz のセッション等に顔を出して自分をアピールするという生活を 20 年やってきた。サポートやレコーディングの仕事をちよくちよくとやりながら、振り返ってみると 20 年間ずっと軸は路上ライブ。うだつが上がらないというのが正直なところだけれど、様々な出会いがある路上ライブの魅力に取り憑かれているというのもまた正直な所なんです。

とある日、藤沢駅での路上ライブ。その日声をかけてくださったのが大谷さんでした。

「あなたの事はずっと前から人から聞いて知ってたんだけど... やっと会えた!! ウチで演奏しませんか？」

そう言うと、名刺をチップケースに入れていかれた。ライブの後早速「ピープルファクトリー」に遊びに行き、あっという間に「ピープル」でのライブ公演が決まりました。

ライブはいつも満杯！

きっと毎回「ピープル」のスタッフの皆さんが精一杯集客に努力して下さい

いられるんだなーと感激！

そんな感謝の意を伝えると、

決まって大谷さん『みんな Tsubo-Ken さんを待ってるのよ!』って、きまってしまうのです。確かに、藤沢は永く路上ライブとしての場所として僕には身近だったけど、「ピープル」のお陰で、路上ライブでは話すことがない方々と身近に交わる場所となりました！



僕が好きなさだまさしさんの歌の歌詞に『偶然を装いながら 奇跡は いつも 近くに居る』と言うのがあります。

「ピープルファクトリー」のライブの中で、そして日々の路上ライブを含めた音楽活動の中で、僕は今後幾つの奇跡と出会えるのだろう...

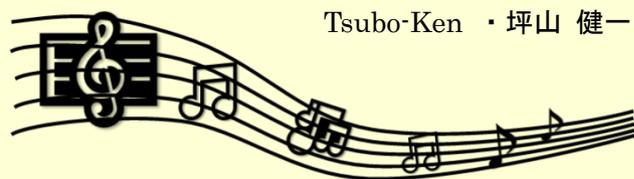
そんな事を考え、時には出会いの期待にドキドキし、時には心が重い日もあったりしながら、これからも音楽活動を続けて参ります。

コロナ感染が収まるのを願って、「ピープルカルチャータイム」でお会いしましょう。

コロナ感染が収まるのを願って、「ピープルカルチャータイム」でお会いしましょう。

コロナ感染が収まるのを願って、「ピープルカルチャータイム」でお会いしましょう。

Tsubo-Ken ・坪山 健一



新型コロナ収束のあかつきには . . .



← 三本木海人 虫展



← Tsubo-Ken ライブ演奏



← アトリエ Toto 鳥展

日程未定ですが
次々と準備中！